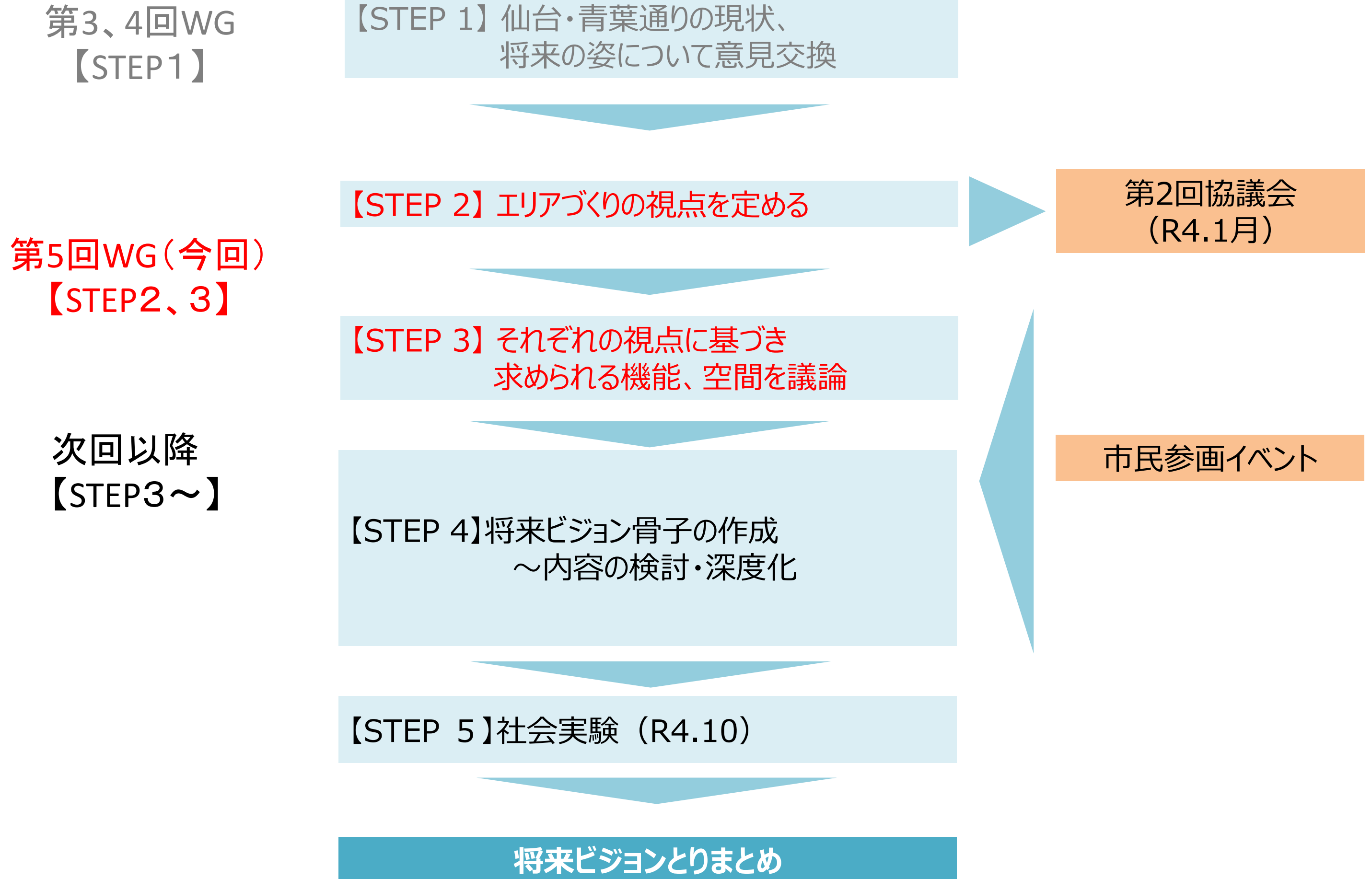


第5回ワーキンググループ(利活用編)

1. 本日の内容
2. エリアづくりの視点(案)
3. 視点を踏まえた求められる機能・空間(素案)※詳細は次回以降のWGでも検討
4. 市民参画イベント(案)
5. 社会実験(案)
6. 第2回協議会内容(案)
7. 第2回協議会後の予定(案)

1. 本日の内容 【ビジョン策定までのプロセス(予定)】



2. エリアづくりの視点(案)

第4回WGでの主な意見(視点に関すること)

大型ショッピングセンターでは
得られない**体験、空間をまちで**

若い世代の意見も取り入れて
賑わいを取り戻す

確信犯的に、固執して**コトを行う**
後から結果がついてきて、人が心を
寄せる「**コアなもの**」になれば

まちづくりは
「**かたち(建物、公共空間)**」
「**なかみ(テナントなど)**」
「**しくみ(コトを起こす)**」

人を動かすなら**道具立てが必要**
移動しやすさ、都心に来る仕掛け

仙台駅から青葉通駅前エリアへ
さらにそこから先への人の流れを作る
都心全体の価値向上へ

将来の担い手が必要

2. エリアづくりの視点(案)

第4回WG：視点作成に向けて⇒「将来の「特徴、個性」に関すること」

・仙台の「顔」

・仙台の**特色を押し出す**

・スムーズに移動

・仙台への**来訪を増やすための重要なエリア**

・**市民の誇り、さすが仙台！**と感じてもらえるエリア

視点1

視点1：「仙台の顔としてのエリア」

【この視点から目指したいこと】

・このエリアや仙台の個性・強みを生かしながら、様々な人がこのエリアに行きたくなり、訪れる人に

仙台の第一印象として好印象を与える、市民が誇れるエリアにすること

・エントランスの役割として、他エリア（東北、仙台市内、都心各エリア）へ導くこと

2. エリアづくりの視点(案)

これまでのWGでの意見も踏まえたこのエリアや仙台の個性や強み

- ・東北の中核
- ・仙台駅（東北随一のターミナル駅）、東西自由通路に近い
- ・交通結節点である
- ・周辺に大規模商業施設、商店街、飲食・物販店が多く立地
- ・複数の沿道再開発の動き
- ・魅力的な街路空間（ケヤキ並木による緑、幅員が広い街路）
- ・青葉通駅前エリアのあり方検討協議会の設立
- ・学都としての知的資源
- ・防災環境都市
- ・次世代放射光施設
- ・多彩な文化、観光、交流資源

2. エリアづくりの視点(案)

第4回WG：視点作成に向けて⇒「表情」(人の感情や活動)に関すること

・人が「**まちを使う**」ことで賑わいをつくる

・**表情豊かな**場所に

・スムーズに**楽しみながらの移動**

・**ここにしかない、ここでしか得られない**体験

・**安全、安心**な場所 (災害時にも対応できる)

視点2

視点2：「多様な活動を生み出していく人中心のエリア」

【この視点から目指したいこと】

・楽しみ、ワクワク感、居心地の良さ、暖かみ、安心感、魅力的・刺激的な経験といった訪れる

人の感情や活動を生み出していく「人中心」のエリアとすること

2. エリアづくりの視点(案)

第4回WG：視点作成に向けて⇒エリアづくりの「姿勢」に関すること

・**理念を変えず、社会の変化に応じて**詳細を変える

・**フレキシブル**に運用

・**「とりあえずやってみる」**ことが大事

・現状に満足することなく、**未来志向で「挑戦」**を続ける

・**将来の担い手**を育てる

・**エリアの価値を高め**、都心全体の価値を高める

・**様々な世代の意見**を聞きながら

・**都心各エリアのまちづくりと連携**

・目的や目指すところを**将来ビジョンにして共有**

視点3

視点3：「エリア価値向上のために挑戦するエリア」

【この視点から目指したいこと】

・新たな魅力を生み出すことや、社会の変化に応じて変えていくことなど、このエリアに関わる

多様な主体がエリア価値向上のためにビジョンを共有し、挑戦すること


2. エリアづくりの視点(案)

視点(案)まとめ

視点1 : 「仙台の顔としてのエリア」

視点2 : 「多様な活動を生み出していく人中心のエリア」

視点3 : 「エリア価値向上のために挑戦するエリア」



「視点」を踏まえて求められる機能や空間のあり方を考えていきます

3. 視点を踏まえた求められる機能・空間（素案）

【次回以降のWGでも検討】

視点1：「仙台の顔としてのエリア」（これまでのWG等での求められる機能・空間に関する意見含む）

- **仙台の個性や強み**を生かした機能・空間（豊かな緑、防災環境都市、学都、文化など）
- **「おもてなし」**の機能・空間
- 仙台駅を出た人が**認識しやすい**機能・空間（特徴的な目印、サイン、アプローチなど）
- **仙台・東北を気軽に体感できる**機能
- **他のエリア**（東北、仙台市内、都心各エリア）に**導く**機能（他のエリアを案内する機能、他エリアとの連携など）
- **風が強い日、寒い日**を生かした機能・空間

視点2：「多様な活動を生み出していく人中心のエリア」（これまでのWG等での求められる機能・空間に関する意見含む）

- 周辺のおフィスワーカー、親子、若者など、様々な人が**楽しめる**機能・空間
- **居心地の良さ**を感じる機能・空間
- 来訪者や周辺のおフィスワーカー等が**安心できる**機能・空間
- **アクセスしやすく、移動したくなる**機能
- 音、色、匂いなど**五感を刺激する**機能・空間
- **人との交流や出会いを促す**機能・空間

3. 視点を踏まえた求められる機能・空間(素案)

【次回以降のWGでも検討】

視点3 : 「エリア価値向上のために挑戦するエリア」 (これまでのWG等での求められる機能・空間に関する意見含む)

- **フレキシブルに運用できる機能・空間** (必要に応じて歩道空間を広げるなど)
- **将来ビジョンを踏まえつつ、社会のニーズや変化に柔軟に対応する機能・空間**
- **隣接建物との相乗効果を発揮する機能・空間** (隣接する建物との一体性や連携)
- **新たなコトを起こし、新たな価値を生み出し続けることを意識して機能・空間を考える**
- **新たなテクノロジーを積極的に活用することを意識して機能・空間を考える**
- **このエリアの持続可能な運営を意識して機能・空間を考える** (人材発掘・育成、収益事業と維持管理など)

3. 視点を踏まえた求められる機能・空間(素案)

【次回以降のWGでも検討】

● 具体的な機能・空間は、3つの視点全てを考慮しつつ、実施できるプレイヤーの発掘と併せて検討

例えば

視点1 : 「仙台の顔としてのエリア」

→ **仙台の個性や強み**を生かした機能・空間、「おもてなし」の機能・空間

+

視点2 : 「多様な活動を生み出していく人中心のエリア」

→ 音、色、匂いなど**五感を刺激する**機能・空間

+

視点3 : 「エリア価値向上のために挑戦するエリア」

→ **このエリアの持続可能な運営**を意識して機能・空間を考える

↓

機能例 : 季節ごとに変化する仙台ならではの食の提供と、新たなテクノロジーを活用した音と色の演出によって、来訪者をおもてなしする機能

実施できるプレイヤーも併せて検討

4. 市民参画イベント(案)

市民参画イベント (案)

○趣旨

- ・青葉通駅前エリアは多様な人が訪れる場所
多様な人から「青葉通駅前エリアのあり方」について率直な意見を集める
- ・利活用プレイヤーの育成、発掘の「きっかけ」とする

○今回のターゲット

- ・学生（専門学校、短大、大学生）

○日時

- ・2月20日（日）

○会場

- ・CROSS B PLUS（大町1丁目1-30 新仙台ビルディング1F）

○内容（検討中）

- ・まずは会場に足を運んでもらうこと
⇒CROSS B PLUSの特徴（1階で通りに対し開けている、カフェがある）を活かす＋魅力的な設え
- ・会場に訪れた人に「青葉通駅前エリアのあり方」について意見を引き出す
⇒訪れた人の意見をまとめ、イラストにすることで意見を「カタチ」にし、ビジョンや社会実験の利活用に生かす

○広報

- ・1月中旬までにチラシを作成。各専門学校、短大、大学にチラシを配布。

5. 社会実験(案)

第4回WGでの意見(社会実験に関すること)

実験に**焦点を強く**当てるべき

現状変更(道路空間の利活用)
を**勇気を持って**進めるべき

大胆に行わないと、
仙台駅から人が来ないので

どこから、
どのような動機で来たのか等を
確認すべき

実験での**検証方法**を
しっかり検討すべき

想定外の結果、
転轍が生まれるかもしれないが、
まちを利用する人がどのように受け止めるか。
多くの意見を拾い上げることが重要

5. 社会実験(案)

社会実験の概要

1. 期間 令和4年10月の3週間程度

2. 目的(利活用)

- ①まちにあり方検討を踏まえた「表情」を生み出し、市民や来訪者がどのような感じ方をするかを検証するため
- ②まちに「表情」を生み出すための活動を行う「人」につなげる
- ③道路空間の再構築による交通への影響・効果の検証

将来ビジョンに反映

3. 利活用イメージ

- ・エリアづくりの視点や、求められる機能・空間を踏まえた利活用内容とする
- ・利活用プレイヤーは、事業者、市民参画イベントの出演予定者、参加予定者等から随時打診を行っていく

5. 社会実験(案)

社会実験の内容(事例)と評価方法(例)

【芝マット】



青葉通社会実験2019

【イス・ベンチ】



新宿ストリートシート

公式Facebookより

【ストリートピアノ】



沼津市arcomichi 2019

第5回沼津市中心市街地まちづくり戦略会議資料より

【フラワーアート】



横浜市 日本大通り

道路占用を伴う日本大通りイベント実施ガイド/横浜市より

効果

【仮説】

日常の風景にしたいと感じた

多様な活動が生まれた

商業力が上がった

青葉通の印象が良くなった

青葉通や都心に行きたいと思う人が増えた

ペDESTリアンデッキ、東西自由通路を訪れた人が立ち寄るようになった

などなど

検証

アンケート調査

【対象】来訪者、来訪していない人、バス利用者、そのほか様々な立場の人へ

【質問内容】

- ・人の感じ方(良かったこと、悪いこと、改善すべきこと等)
- ・どこから、どのようにやってきたか
- ・来訪目的、動機など

利用実態調査

【対象】来訪者

【調査内容】

- ①歩行者交通量(前と実験中で対比)
- ②歩行スピード(前と実験中で対比)
- ③アクティビティ調査(どのような活動をしたか。前と実験中で対比)
- ④沿道店舗への影響(前と実験中で対比)

▼アクティビティの種類(一例)

- たたずみ/滞留する機会
- ・エッジ効果/たたずみ/滞留するための魅力的なゾーン
- ・たたずむための拠り所

(出典)人間の街(ヤンゲル)

6. 第2回協議会内容(案)

○第2回 協議会（1月26日）

- ・これまでのWG（報告）
- ・エリアづくりの視点について
- ・社会実験について

7. 第2回協議会後の予定(案)

○第6回 WG (2月)

- ・視点を踏まえた求められる機能・空間 (案)
- ・将来ビジョン骨子案

○第7回 WG (3月)

- ・視点を踏まえた求められる機能・空間 (案)
- ・将来ビジョン骨子案
- ・市民参画イベントの結果概要

○第3回 協議会 (3月)

- ・将来ビジョン骨子案